



## 平成30年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月12日

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション  
コード番号 2798 URL <http://www.ystable.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 (氏名) 金山 精三郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 平尾 健治

TEL 03-5412-0065

四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	7,083	8.1	46	82.7	77	71.6	3	97.9
29年2月期第2四半期	7,708	4.3	266	157.7	272	98.0	162	

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 8百万円 (95.9%) 29年2月期第2四半期 198百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	1.26	1.23
29年2月期第2四半期	61.11	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第2四半期	5,807	1,466	24.7	539.02
29年2月期	5,697	1,452	25.0	535.91

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 1,434百万円 29年2月期 1,425百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		0.00		0.00	0.00
30年2月期		0.00			
30年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,065	5.7	149	50.3	216	40.0	95	52.2	35.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期2Q	2,660,900 株	29年2月期	2,660,900 株
期末自己株式数	30年2月期2Q	145 株	29年2月期	145 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期2Q	2,660,755 株	29年2月期2Q	2,660,776 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き緩やかな景気回復基調にあるものの、米国の政策方針や東アジアにおける政情不安による影響などから、先行き不透明な状態が続いています。国内の個人消費には持ち直しの動きが見られるものの、外食に対する低価格志向は依然として根強く継続しています。

外食産業においては、食材価格の高騰、人材不足や人材関連コストの上昇、消費者の節約志向やライフスタイルの変化などの影響から、業界内の環境は厳しさを増す状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、既存店の販売強化、店舗管理体制の見直し、全社的なコストの見直しを推進してまいりました。当第2四半期連結累計期間におきましては、継続的なXEXグループのウェディング売上の減少に加えて、カジュアルレストラングループにおいて来客数の減少等により既存店の売上が低調に推移した影響から、売上高は7,083百万円（前年同期比8.1%減少）、営業利益は46百万円（同82.7%減少）、経常利益は77百万円（同71.6%減少）となりました。また、特別損失としてXEX代官山等に対する減損損失を47百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は3百万円（前年同期比97.9%減少）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次の通りです。

#### ①XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業であるXEXグループについては、継続的な販売強化の推進により一般営業の売上は堅調に推移したものの、プライダル営業体制を移行した効果の伸び悩みが続いたことから、レストランウェディングの件数および売上高が前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の同グループの売上高は2,229百万円（前年同期比4.3%減少）、営業利益は108百万円（同43.6%減少）となりました。なお、店舗数は直営店9店舗となりました。

#### ②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループについては、国内において新たな出店はなく、既存店のサービスと料理の品質向上および人材育成に注力してまいりました。平成29年6月に、FC店「SALVATORE CUOMO & BAR 金沢片町」を直営店舗化しました。韓国においては新規出店を進め、平成29年7月には京畿道龍仁市に、FC店として「SALVATORE CUOMO 新世界京畿」を、同年8月には京畿道高陽市に「PIZZA SALVATORE CUOMO スターフィールド高陽」を出店いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の同グループの売上高は4,849百万円（前年同期比9.8%減少）、営業利益は513百万円（同16.9%減少）となりました。なお、店舗数は直営店44店舗、FC店48店舗となりました。

#### ③その他

その他は、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等により構成されております。当第2四半期連結累計期間の同グループの売上高は3百万円（前年同期比17.4%増加）、営業損失は3百万円（前年同期は営業利益1百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は2,919百万円となり、前連結会計年度末に比べ164百万円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の増加144百万円、売掛金の増加61百万円、原材料及び貯蔵品の減少18百万円、繰延税金資産の減少8百万円等によるものです。固定資産合計は2,888百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円減少いたしました。これは主として、建物及び構築物の減少91百万円、工具、器具及び備品の減少23百万円、のれんの減少21百万円、敷金及び保証金の増加24百万円、長期繰延税金資産の増加35百万円等によるものです。

この結果、総資産は5,807百万円となり、前連結会計年度末に比べ110百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は2,426百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円増加いたしました。これは主として、買掛金の増加42百万円、短期借入金の増加65百万円、未払法人税等の減少54百万円、株主優待引当金の増加4百万円等によるものです。固定負債合計は1,914百万円となり、前連結会計年度末に比べ89百万円増加いたしました。これは主として、長期借入金の増加129百万円、長期前受収益の減少27百万円等によるものです。

この結果、負債合計は4,341百万円となり、前連結会計年度末に比べ96百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,466百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円増加いたしました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上3百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は24.7%（前連結会計年度末は25.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、平成29年4月17日に公表いたしました「平成29年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期連結業績予想を修正いたしました。

詳細については、平成29年10月12日に公表いたしました「特別損失の計上、平成30年2月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,617,528	1,762,500
売掛金	621,575	682,815
原材料及び貯蔵品	217,725	198,846
繰延税金資産	111,375	102,617
その他	186,805	173,020
貸倒引当金	△512	△528
流動資産合計	2,754,497	2,919,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,732,926	1,640,952
工具、器具及び備品(純額)	212,402	188,544
リース資産(純額)	59,102	64,261
建設仮勘定	2,944	4,090
その他(純額)	5,789	25,061
有形固定資産合計	2,013,166	1,922,909
無形固定資産		
のれん	139,189	117,775
その他	39,167	34,426
無形固定資産合計	178,356	152,202
投資その他の資産		
投資有価証券	422	354
長期貸付金	8,262	10,980
敷金及び保証金	600,637	625,315
繰延税金資産	144,687	179,978
その他	15,280	14,251
貸倒引当金	△17,818	△17,587
投資その他の資産合計	751,472	813,292
固定資産合計	2,942,995	2,888,403
資産合計	5,697,493	5,807,677
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	668,785	711,402
短期借入金	548,268	613,656
未払金	637,604	636,063
未払法人税等	131,440	76,531
ポイント引当金	24,355	24,975
株主優待引当金	57,825	62,300
その他	351,725	301,866
流動負債合計	2,420,004	2,426,797
固定負債		
長期借入金	1,058,218	1,187,618
資産除去債務	474,853	465,522
長期前受収益	129,150	102,150
その他	162,553	159,127
固定負債合計	1,824,775	1,914,418
負債合計	4,244,780	4,341,215

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	830,375	830,375
資本剰余金	898,683	898,683
利益剰余金	△160,392	△157,044
自己株式	△362	△362
株主資本合計	1,568,303	1,571,651
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	51
為替換算調整勘定	△142,479	△137,493
その他の包括利益累計額合計	△142,384	△137,442
新株予約権	21,757	27,428
非支配株主持分	5,035	4,823
純資産合計	1,452,712	1,466,461
負債純資産合計	5,697,493	5,807,677

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	7,708,571	7,083,703
売上原価	6,264,804	5,793,208
売上総利益	1,443,767	1,290,494
販売費及び一般管理費	1,177,475	1,244,423
営業利益	266,291	46,070
営業外収益		
受取利息	99	108
協賛金収入	38,439	38,326
その他	16,254	11,000
営業外収益合計	54,793	49,435
営業外費用		
支払利息	13,213	10,681
為替差損	31,653	5,451
その他	4,101	2,038
営業外費用合計	48,969	18,171
経常利益	272,116	77,334
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2,668
特別利益合計	—	2,668
特別損失		
減損損失	—	47,706
特別損失合計	—	47,706
税金等調整前四半期純利益	272,116	32,297
法人税、住民税及び事業税	147,879	55,541
法人税等調整額	△38,358	△26,509
法人税等合計	109,521	29,032
四半期純利益	162,595	3,265
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△82
親会社株主に帰属する四半期純利益	162,595	3,347

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)
四半期純利益	162,595	3,265
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	△44
為替換算調整勘定	35,690	4,856
その他の包括利益合計	35,700	4,812
四半期包括利益	198,295	8,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198,295	8,290
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△212

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	272,116	32,297
減価償却費	161,736	149,455
減損損失	—	47,706
のれん償却額	21,413	21,413
株式報酬費用	9,007	5,671
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△209	△214
株主優待引当金の増減額(△は減少)	158	4,474
ポイント引当金の増減額(△は減少)	3,119	620
受取利息及び受取配当金	△106	△117
支払利息	13,213	10,681
為替差損益(△は益)	27,997	3,068
売上債権の増減額(△は増加)	△129	△61,360
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,296	18,878
前払費用の増減額(△は増加)	△3,377	△220
仕入債務の増減額(△は減少)	128,768	28,773
未払金の増減額(△は減少)	49,292	5,498
未払消費税等の増減額(△は減少)	△8,418	△56,665
前受収益の増減額(△は減少)	△5,984	△21,600
その他	13,804	32,599
小計	685,698	220,960
利息及び配当金の受取額	106	142
利息の支払額	△12,919	△10,675
法人税等の支払額	△28,164	△110,581
営業活動によるキャッシュ・フロー	644,720	99,845
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△171,848	△116,921
無形固定資産の取得による支出	△980	—
貸付けによる支出	△334	△4,715
貸付金の回収による収入	209	3,163
資産除去債務の履行による支出	△3,046	—
敷金及び保証金の差入による支出	△12,767	△25,063
敷金及び保証金の回収による収入	1,257	260
投資活動によるキャッシュ・フロー	△187,510	△143,276
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	—
長期借入れによる収入	930,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△306,248	△305,212
自己株式の取得による支出	△86	—
リース債務の返済による支出	△11,331	△8,248
財務活動によるキャッシュ・フロー	512,334	186,539
現金及び現金同等物に係る換算差額	587	1,863
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	970,131	144,972
現金及び現金同等物の期首残高	736,474	1,617,528
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,706,605	1,762,500

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,330,276	5,374,902	7,705,178	3,393	7,708,571	—	7,708,571
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	176,052	176,052	△176,052	—
計	2,330,276	5,374,902	7,705,178	179,445	7,884,623	△176,052	7,708,571
セグメント利益	193,159	617,382	810,542	1,302	811,844	△545,553	266,291

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△545,553千円には、セグメント間取引消去額833千円、各セグメントに配分していない全社費用△546,386千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,229,952	4,849,766	7,079,718	3,984	7,083,703	—	7,083,703
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	158,751	158,751	△158,751	—
計	2,229,952	4,849,766	7,079,718	162,736	7,242,454	△158,751	7,083,703
セグメント利益	108,894	513,336	622,231	△3,807	618,424	△572,353	46,070

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

- 2 セグメント利益の調整額△572,353千円には、セグメント間取引消去額833千円、各セグメントに配分していない全社費用△573,186千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
  - 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)
- 当第2四半期連結累計期間に、「XEXグループ」セグメントにおいて47,706千円の減損損失を計上しております。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。